

第 1 回
西予市都市計画マスタープラン等検討委員会 概要

日時：平成 29 年 1 月 23 日（月）13 時～

場所：西予市教育保健センター 集団指導室 1, 2

■議事次第

1. 開 会

2. 委員自己紹介

3. 委員長選出

4. 議 事

（1）計画策定の背景について

（2）策定作業について

（3）策定体制と今後のスケジュールについて

（3）西予市の現状特性の説明及び市民アンケート結果の説明、公表について

5. その他

■配布資料

会議次第

資料 1 第 1 回検討委員会資料

資料 2 西予市の現況特性について

資料 3 市民アンケートについて

参考資料 1 西予市都市計画マスタープラン等策定に係る基礎調査（現況分析）

参考資料 2 西予市今後のまちづくりに関するアンケート（一般市民）調査結果報告書

■当日の様子



■議事

1. 開会

事務局より、開会にあたってのあいさつとお願い。

事務局より、開会の宣言。

2. 委員自己紹介

各委員より、自己紹介。

3. 委員長選出

事務局より委員長を推薦。

【異議なしの拍手】

委員長よりあいさつ。

(委員長)

- ・委員長の重責を担うことになりました、よろしくお願いします。
- ・普段は松山にいますが、数年前から西予市に関わっています。だんだん西予市について分かってきましたが、まだまだ分からないところもあります。
- ・「都市計画について知っている人が13.8%」とありましたが、意外に高いな、という印象です。東京などではもっと低いのではないのでしょうか。しかし、80%以上の人は都市計画を知らないということで、さらに向上していく必要があります。みな様がせっかく集まって頂いていますので、市民目線で良い案が出来ればと思います。
- ・範囲については、今後の検討かと思いますが、西予市全体を計画範囲にするという話も聞いています。それぞれの地域のあり方から、市全体のあり方を考える会にしていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

4. 議 事

(1) 計画策定の背景について

(2) 策定作業について

事務局より、計画策定の背景について・策定作業について、資料1を用いて説明。

【質疑・意見交換】

(委員)

- ・この会議では、都市計画マスタープランと立地適正化計画をつくることの2つの目的があるのですか。

(事務局)

- ・はい。一緒に進めていく流れになります。

(委員長)

- ・昔は決められた項目を定める都市計画マスタープランが多かったようですが、最近は色々な都市で工夫されたマスタープランが作成されています。

(委員)

- ・現在、野村で計画されている市街地整備事業は、この計画に含まれるのですか。

(事務局)

- ・条件が整えば含めることになります。例えば、立地適正化計画の誘導区域に位置付けられていると、国の補助が受けられることになります。

(委員)

- ・野村の郊外に住むお年寄りを中心地に移転させる、というようなことはできますか。

(事務局)

- ・強制はできませんが、誘導区域を位置付けて、誘導のための施策を行うことが出来るようになります。

(委員長)

- ・まちづくりの全体を都市計画マスタープランが包括し、立地適正化計画がその一部となるイメージかと思います。

(3) 策定体制と今後のスケジュールについて

事務局より、策定体制と今後のスケジュールについて、資料1を用いて説明。

【質疑・意見交換】

(委員)

- ・仕事をしていると、インター近くで物件を探している人が多いと感じます。宇和で借りると、宇和島・大洲・松山など、どこに行くにも便利です。
- ・営業所になると必要面積が大きくなり、良い場所があっても農地から転用できない。農地の転用にはハードルが高いと聞きます。そういったことを書きこむことはできますか。

(事務局)

- ・現在の都市計画マスタープランでも書き込んでいますが、苦勞しています。

(委)

- ・マスタープランに基づいて第1種農地を第2種、第3種に変更する、ということは可能ですか。

(委員)

- ・都市計画マスタープランに記載されていれば、協議はできる、ということです。必ず農地転用できる、という訳ではありません。

(委員)

- ・この委員会で、転用していくべき農地や残していくべき農地について、線引きできるのですか。

(事務局)

- ・大まかな線は決めます。その際、農林部局には合議を取ります。

(委員)

- ・ただし、これまで農業振興のための土地として圃場整備などを行っている場合、すぐに転用して他の目的に使う、というには難しいところがあります。人口減少という流れの中で、少しでも歯止めをかけるために検討の余地はある、というようにご理解ください。

(委員)

- ・説明の中で伊勢市のマスタープランは白紙からワークショップで作成していった、とありますが、西予市では地域づくり団体が27団体ありますので、全てを白紙から始めるのは難しいと思います。国の交付金や時間との兼ね合いがあるのなら、地域づくり団体にはタキ台を示してコメントをもらうようにするべきだと思います。

(委員長)

- ・委員会の意見に漏れがあつてはいけませんので、それを補完するために地域から情報を収集することが必要かと思います。

(委員長)

- ・前回のマスタープランでは、人口の目標を推計値よりも3,000人ほど上乗せしています。このあたりはどうするのですか。
- ・三瓶地域は、4つの地域づくり団体からなり、そのうち3つは都市計画区域外で、都市計画に興味・関心がありません。1つの地区に絞ってヒアリングの回数を増やすという考えはありますか。

(委員長)

- ・ヒアリングは、地区の実情に応じて行う必要があります。関心が無いところをどうするのかが課題ですが、関心を高めていくことが必要なのではないでしょうか。

(委員)

- ・その地区に関係の無い話をしても意味がありませんので、地区に関連することについて話していくべきかと思います。27地区あるとなかなか大変ですので、進め方は今後検討されたいと思います。

- ・人口は確実に減っていく中で、総合計画では、少しでも減少を抑制しようという考え方で整理していると思います。

(委員)

- ・例えば卯之町の方は都市計画についてある程度の理解があると思いますが、明浜地域の人にはさっぱり分からないと思います。「都市計画」と言っても伝わらないので、「まちづくり」などと言うべきではないでしょうか。

(事務局)

- ・検討します。

(委員)

- ・未来円卓会議は都市計画とどのように関わるのでしょうか。また、何か既に決定しているのですか。
- ・全体の構想に向かって各地域が何をしていくのか、という話と思いますが、全体像が分かりにくいので、市民にも分かるようにした方が良いと思います。

(事務局)

- ・未来予想円卓会議は、米博物館の事業受託者のみメンバーに決定しています。今年度に1～2回開催し、まちづくりに対して何か提言して頂きたいと思っています。

(委員長)

- ・西予市は市域も広く、全体の構想も分かりにくいところがあると思います。

(委員)

- ・第2次総合計画では、西予市の未来像や行政として取り組むことを掲げていますが、このダイジェスト版を見ても分かりにくいと思います。市職員が総合計画を解説している映像がありますので、次回にでも、みな様で見ることが出来ればと思います。

(委員長)

- ・マスタープランにおいても、分かりやすいものをつくるようにしましょう。

(4) 西予市の現状特性の説明及び市民アンケート結果の説明、公表について

事務局より、現況分析・アンケート結果について、資料3を用いて説明

【質疑・意見交換】

(委員長)

- ・アンケートの自由意見を見ていると、公共交通に関する意見が多いようです。カバー率は97%と高いようですが。

(事務局)

- ・やはり公共交通に使いにくいところがあるのだろうと思います。カバー率は高くても、便数や頻度が足りないという問題があります。

(委員)

- ・明浜地域には都市計画区域がありませんので、周知方法などを考えなければ、説明会やヒアリングを開催されても人が集まらないと思います。

(委員長)

- ・この計画が都市計画区域外の方々とどのような関係があって、今後どのように関係していくことができるのかを示さなければいけないということだと思います。

(委員)

- ・野村では、小学校の統廃合が進み、小学校が無くなったところも多くあります。都市計画だけでなく、もっと幅広いテーマ設定の方が分かりやすいのではないのでしょうか。大きなテーマがあって、その中に小さなテーマがあるというような説明が良いと思います。
- ・まちなかの人だけでは活性化できませんので、地区の区長さんなどと連携しながら、上手く意見を拾い上げて進めていただければと思います。

(委員長)

- ・生活する上で不安なこともあると思います。今回は区域内の話だけではありませんし、内側と外側をつないでいくことも都市計画の役割だと思います。

(委員)

- ・城川地域からは何をするにも野村・宇和に行かなければなりません。公共交通もカバー率97%以上とありますが、地域の端々まで行きわたっているわけではありません。
- ・城川地域にも良いところが沢山ありますので、集約だけでなくバラバラと立地しているようなイメージでも良いのではないのでしょうか。

(委員)

- ・私は公共交通を使っています。西予病院行きのバスに乗るのですが、私しか乗っていない時があり、宇和島自動車には大変申し訳なく思います。
- ・卯之町駅から市役所近辺には、買い物や食事をできるお店が少なくなりました。せめて卯之町くらいは、もう少し真剣に考えていかなければならないのでは、と思います。

(委員長)

- ・拠点はどうするのか、という話に関連してきますので、まさにこの会議で話し合わなければいけないテーマと思います。

(委員)

- ・集約を進めながら、拠点に魅力をつくっていかねばいけないという話と思います。一方で、郊外から大型店に車で行ける、という利便性もあります。話し合いながら進めていければと思います。

(委員長)

- ・現在の利便性と 10 年後、50 年後の利便性にズレが生じることの問題と思います。

(委員)

- ・明浜地域は人口減少が進んでいます。若い人には結婚して子どもをつくってほしい、そのために行政の支援があれば良いなと思います。
- ・小学校が少なくなり、狩江小学校も廃校となりましたが、狩江小学校を農業に活用するグループがあります。空き家も活用されており、若い人のおかげで地域が元気になっていると感じます。都市計画の話から遠くなるかもしれませんが、そういったことから都市計画にもつながって、地域が元気になっていけば良いと思います。

(委員長)

- ・若い人をどう集めるのか、という話は、ソフト事業と関連するところです。マスタープランに詳細を書くことは難しいと思いますが、方向性は考えていく必要があります。

(委員長)

- ・本日は色々な意見が聞けて良かったと思います。土地利用やゾーンについて今後検討しなければいけませんし、今後のヒアリングでは都市計画区域の内外を考えながら、市民目線で考えていく必要があります。
- ・次回は、全体像について、総合計画の映像を用いた勉強会など行えればと思います。

5. その他

事務局・安田係長より、次回の予定について説明。

- ・第 2 回検討委員会：3 月 7 日（火）15：00～

6. 閉会

事務局・水野課長補佐より、閉会のあいさつ。

以上